

# 関西協会ニュース

2005 年 3 月 15 日発行 第 40 号

## 第 4 回骨髄バンク & 京阪・兵庫さい帯血バンク支援チャリティーゴルフ大会開催

2004 年 11 月 23 日（火・祝）、第 3 回大会に引き続き、兵庫県神戸市の有馬ロイヤルゴルフクラブにて、「第 4 回骨髄バンク & 京阪・兵庫さい帯血バンク支援チャリティーゴルフ大会」が開催されました。

過去最高の 116 名の参加人数となったこの大会での優勝者は、第 1 回・第 3 回大会にもご参加いただいている能勢義介さん。

優勝おめでとうございます。



### 『まさにツキにつきる優勝でした』

### 兵庫県赤十字血液センター 能勢 義介

毎年初冬に計画される 2004 年度の「第 4 回骨髄バンク & 京阪・兵庫さい帯血バンク支援チャリティーゴルフ大会」が、11 月 23 日（祝日）ばかばか陽気の快晴のもと、116 名の参加を得て有馬ロイヤルゴルフクラブで開催されました。

この大会はチャリティーの意味合いもあり、第 1 回から三戸所長と一緒に参加させて頂いていたが、今回思いがけない優勝の榮譽に輝き嬉しさ半分、恥ずかしさ半分の気持ちです。イン 48、アウト 46 で到底優勝できるスコアからは程遠く、ラッキーとしか言いようがない。また血液センターに所属する関係者のひとりとして気がひけることしきりです。

スコアをしげしげ見てみるとパーが 4 ホール、バーディが 1 ホールあり、そして 5 ホール中 4 ホールがハンディホールではなかったのである。つまり大たたきしたホールにハンディホールが運良く入った事になり、ダブルペリア方式の恩恵をもうけ優勝出来たのであります。本当は実力で堂々といきたいところですが、何分技量も度量も半人前、ツキ頼みの月 1 ゴルファーとしては、さらに練習に力が入る日々となりました。

一緒にラウンドさせて頂いた兵庫さい帯血バンク理事長の芦尾様、河先生からお誘いを受け参加されました丹羽先生、そして当センター所長の三戸先生には楽しくラウンドさせて頂き、さらに 3 人のツキを全て頂いてしまい感謝、感謝であります。またキャディさんにも随分助けて頂いた気がします。距離やグリーンのラインを読むのは的確で、ついついフェアウェイでもドライバーで打つなどの冒険もさせて頂き、大変楽しいラウンドでした。

優勝賞品は空気清浄機で小生の体が隠れるぐらい大きく、重さもずっしりと優勝した実感を背負いながら車まで運びました。さらに副賞としてゴルフ場から期限付きながら、V.I.P.TICKET を 4 枚頂き、早速仲間とツキが逃げないうちにラウンドを楽しみたいと思っております。

昨年で骨髄バンクドナーが 20 万人に突破しさらに 30 万人の目標に向かっております。また臍帯血移植も順調に推移し、今では骨髄バンクドナーからの移植数を超えるようになりました。今後両バンクの HLA タイピングを担当しているひとりとして、更に努力して参りたいと思っております。最後にチャリティーゴルフを企画運営された関係者の皆様に感謝を申し上げます。



## 第 4 回骨髄バンク & 京阪・兵庫さい帯血バンク支援チャリティーゴルフ大会報告



### ゴルフ大会成績発表

優勝	能勢 義介さん
レディース優勝	浅田 陽子さん
2 位	板野 拓夫さん
3 位	長谷川喜久雄さん
ベストグロス賞	岸 伸光さん
以下の順位につきましては、スペースの都合上、割愛させていただきます。	

当大会開催にあたり、たくさんの企業・団体・個人の皆様からご協力・品物の提供をいただきました。また、大会参加の皆様からのご寄付（参加費の一部・チャリティーボックス）やチャリティーオークションの売上などの収益金 899,787 円から、それぞれ 224,947 円を骨髄移植推進財団・京阪さい帯血バンク・NPO 法人兵庫さい帯血バンクへの寄付金とさせていただきます、224,946 円を関西協会の活動費としていただきました。ご参加およびご協賛いただいた皆さまに感謝いたします。

< 第 4 回ゴルフ大会に協賛・協力いただいた皆様（順不同・敬称略） >

高橋勝成プロ・中村悦子プロ・石田和子プロ・上野敦子プロ・村田理恵プロ・デーブ大久保プロ  
 中溝裕子プロ・有森裕子・有馬ロイヤルゴルフクラブ・アサヒビール株式会社・ガンプロ株式会社  
 セレッソ大阪・味の素ファルマ株式会社・大塚製薬株式会社・有限会社喜南鈴硝子・松下電器産業株式会社  
 ダイードリンコ株式会社・東海屋・日本盛株式会社・ボルボカーズ ジャパン 大阪中央  
 河敬世・正岡徹・ねずみ工房・パッチワークグループ 他 匿名・有志多数・参加者の皆様

### 第 5 回チャリティーゴルフ大会のお知らせ

今年も、5 回目を迎えるチャリティーゴルフ大会を企画しております。参加募集のご案内など、詳細は次号（7 月発行予定）の関西協会ニュース等でお知らせいたします。多数の皆様のご参加とご協力をいただきますようお願い申し上げます。また、参加者への賞品・景品となる品物をご提供いただける企業・個人・団体を募集しております。ご協賛いただける方は、ぜひ関西協会までご連絡下さい。

### 『テーマ「こんなやさしさ見つけたよ」への取り組み』 社団法人 岸和田青年会議所 田村 一也

社団法人岸和田青年会議所の田村と申します。青少年健全育成やまちづくりを中心に 20 才から 40 才までのメンバーが活動しております。かねてから献血活動を行っていましたが、私がドナー登録をしていることもあり、昨年は骨髄バンクの支援活動をぜひ行いたいと思っていました。

11/3（祝）に岸和田市内の小学生に『こんなやさしさ見つけたよ』というテーマで、子供なりの身近なやさしさを感じさせられる絵を募集、展示し、その絵を大人が見ることにより忘れていたやさしさに気づいてもらい、やさしさで溢れたまちを作ろうという絵画展を行いました。同時に、骨髄バンクのビデオ上映を行いました。感じたやさしさの表現は人それぞれですが、その一つのかたちとしてドナー登録会を提案いたしました。そして、12/1 に献血を行い、併行型ドナー登録会を開催しました。初めての試みでしたが、血液センターの方々、関西協会の方々のご協力を得て目標の 10 人に 1 人足りない 9 人のドナー登録をいただくことが出来ました。

ヒーローのような人命救助は出来ないが、骨髄液の提供という方法なら助けが出来る。私自身登録するまでに何年も悩みましたが、一昨年登録しました。今後も多くの方が、生かされている感謝を他者への『やさしさ』で表現していけるよう、また、その中心的な方法として骨髄バンクドナー登録が拡大するよう活動したいと思っています。



『東大阪ききょうライオンズクラブ チャリティー講演会』

東大阪ききょうライオンズクラブ 会長 船木 三穂子



皆さんこんにちは。私達、東大阪ききょうライオンズクラブは 2003 年 4 月に結成された東大阪初の女性だけのクラブです。

この度の骨髄バンク支援チャリティー講演会を開催することとなったものの、私達は、白血病について余りにも知識が無く、どのように活動してよいか手探り状態でした。しかし、昨年 10 月 29 日に開催されました大阪府・NPO 法人関西骨髄バンク推進協会主催の合同フォーラムへの参加、さらに急性骨髄性白血病を克服された近畿大学附属小学校の森田敏之先生との出会いにより、私達の活動が大きく前進することになりました。

その後、講演の為プロジェクトチームを作り、各方面への支援依頼、ポスター・チラシの製作、配布、チケット販売とクラブ員全員で取り組みました。2 月 20 日を迎え、寒い中どれだけの方が足を運んで下さるか、ドキドキしながら開場しました。不安をよそに、開演の時には 240 名収容の東大阪イコーラムホールが満席となりました。目的でもありました骨髄バンク支援の輪が広がるお手伝いが出来ました事、皆様のご協力に感謝申し上げます。

.....

当日は、会場の座席が足りなくなるほどの大勢の方が、続々と来場して下さる姿に感激し、森田先生のお話、森田先生の闘病を支えられた 3 人のご子息の姿、みんなで声と思いを重ね合わせた 翼をください と、とても心動かされる講演会でした。

この講演会の開催にあたり、チケットの収益から 20 万円を関西協会に、10 万円を京阪さい帯血バンクにご寄付いただきました。贈呈式には、関西協会専務理事 藤岡八重子と京阪さい帯血バンク 矢内純吉 副理事長が出席し拝受いたしました。また、ホールロビーで行いました展示即売では、41,300 円の売上があり、設置しました募金箱には、38,818 円のご厚志をいただきました。



『国際ソロプチミスト大阪 中央 第 2 回チャリティー講演会・ミニバザー』

報告：新名 星子（関西協会理事）

去る 2 月 17 日（木）センチュリークラブ・ダイニングルームにおいて、創立 2 周年を迎える国際ソロプチミスト大阪 中央により「テーマ『骨髄バンク』ってご存知ですか？」と掲げて、上記の講演会が執り行われました。

「治療を受けて病気が治り、生活も幸せになった...。そうして、患者さんに笑ってもらうのが、我々の願いです。」という当協会理事長の正岡先生の講演は、バンクや患者さん達を巡る現実に即した問題をユーモアとウィットで味付けされて、聴く人々の耳に判りやすく、又深い感銘を与えられ「ドナーになるには？」「どんな協力方法がある？」「会員になるには、どうすればよい？」などのご質問がありました。『生への闘い』に直面する数々の患者さんを深い愛情を持って支える先生のお話を「今日は楽しんで聴きました！」といわれるメンバーの中には親戚の方がなんと 30 年前に再生不良性貧血を克服された正岡先生の元患者さんという方も。約 70 人のご参加がありました。

同じフロア内では、知的ハンディのある方達の自立支援事業を行う社会福祉法人「桃花塾」等へのチャリティーバザーも併催され、幅広い方面に福祉の目が向けられていることを感じました。講演後のご寄付贈呈式では、会長の辻田栄美子様より 10 万円を拝受いたしました。

『第 25 回動物臨床医学会における啓発・募金活動報告』

名川 一史

平成 16 年 11 月 20 日・21 日の両日、大阪国際会議場で開催されました『動物臨床医学会』第 25 回記念大会に於いて骨髄バンク普及啓発・募金活動を実施したご報告をいたします。この学会は動物医療にかかわる獣医師を中心とした全国大会で、一昨年息子（名川晃太）の白血病発病の際、骨髄バンク登録の呼びかけを始め、今回で 2 度目となりますが、晃太の近況報告とバンクの普及啓発活動をいたしました。動物医療ではあるものの、医



学的な知識を多少持ち合わせた方々が多く、造血幹細胞移植医療や骨髄バンクにも関心を示し、熱心に話を聞いてくださった方々がいてとても感慨深いものでした。

またこの 2 日間での募金は 63,043 円、手作りのかわいい小物等の展示即売の売上は 34,500 円でした。出来ることならこの活動を毎年続けられればと思いい、大会事務局の方にもお願いしてまいりました。その折りには関西協会の皆様にはご協力をお願いしなければなりません。どうぞよろしくお願ひいたします。また今回お忙しい中、駆けつけてくださいました関西協会の藤岡さん、甲斐さんに深謝いたします。本当にありがとうございました。

『済生会野江病院 骨髄バンクドナー登録会の取り組み』

済生会野江病院 看護師 坂口 真壽美

私が骨髄バンクを知ったのは、中堀由希子さんの涙を流して訴えるテレビCMを見た時です。あのCMの映像、歌を聴いて、涙があふれてきた事を、今でも鮮明に覚えています。

その頃私は新米看護婦で、何か役に立ちたい・・・と思ひドナー登録をしたのが 12 年程前になります。その後適合者が無いまま時は過ぎ、結婚して子どもが生まれ、又違った意味で骨髄バンクというものの大切さを感じていました。そんな時に、バンクニュースで集団登録会を開始したという記事を読み、すぐ、師長に相談した結果、2000 年 12 月 13 日に第 1 回院内骨髄バンク登録会を開催することが出来ました。職員の中には、登録したいが時間が無い、仕方がわからない、具体的にどのように採取・移植が行なわれるのかわからないという方が多く、登録に要する時間を可能な限り短縮しつつ、考える時間も持たせてあげたいと考えました。そこで、まず登録希望者数の大まかな把握の為アンケートを行い、その後、ビデオ上映 15 分（4 日に分けた）、最終希望者確認アンケート、登録会 20 分（バンク側からの説明、問診、採血）という流れで、病欠の方もいたものの、最終的に 20 人の方が登録してくださいました。

4 年後、又登録会を開催して欲しいとの声があがり、2004 年 12 月 9 日、第 2 回院内骨髄バンク登録会を前回同様の流れで開催し、8 人の方が登録して下さいました。苦労も多かったのですが、沢山の人が、自分の勇気で尊い命が救われるという喜びに賛同してくれた事がとてもうれしく思いました。今後も、陰ながらお役に立てるよう頑張ります。

『出会いから共にチャレンジ！ NPO 協働推進研修を受講して』 大阪府藤井寺保健所 保健師 遠藤 知賀子

活動体験により NPO の現状や課題・展望について学び、今後の行政と NPO の協働のあり方等、一緒に考えることができました。

1 日目、10 月 15 日（金）関西骨髄バンク推進協会事務局にて、事業概要・ミッション・活動内容・行政との協働等。2 日目、11 月 6 日（土）大阪府立大学「白鷺祭」で献血併行型ドナー登録会に参加。3 日目、11 月 15 日（月）協会事務局にて、関西協会の会員やボランティアの方達と会報の発送作業・ふりかえり。平成 17 年 2 月 1 日（火）大阪 NPO プラザにて、研修先の 6 団体・研修生 8 名・大阪府及びボランティア協会担当職員が参加し、事後報告会が開催されました。

藤岡専務理事のコーディネイトにより、会員の方より「ひとり一人の物語」をお聴きすることができました。2001 年同時多発テロの時、アメリカからの骨髄液運搬のためにチャーター便を運行等、一人の命を職員・会員・ボランティア・市民と多くの人達で支えあい、自主的に、必要なサービスを提供されている依存や陳情でない活動等、多くのことを学ばせていただきました。

又、異分野の「人」と「場」がつながることで新しい社会資源を生み、一人の命が大切にされる安心安全な豊かな地域づくりにつながることを実感しました。

今後、研修で得た知識や経験を活かし、小学生や中学生などの総合学習など、みなさんの「ひとり一人の物語」やひとりの命をささえている NPO の活動の紹介等、いますぐ、直接にドナー登録事業になりにくい場合をも含めた「ドナー登録といわないドナー登録」協働事業に、共にチャレンジできればと思っています。

『大阪府青少年赤十字高校生メンバーによる骨髄バンクチャリティーフリーマーケット』

報告：甲斐 志帆（関西協会 事務局）

2004 年 10 月 31 日（日）大阪府立健康科学センター 1 階玄関前にて大阪府青少年赤十字高校生メンバーによる骨髄バンクチャリティーフリーマーケットが開催されました。

4 年目となるこの活動には、高校生 26 名・関係者 5 名と多くの皆さんが参加してくださいました。はじめに当協会理事・福田より骨髄バンクについての話がされ、参加メンバーはとても熱心に聞き入っていました。

その後、高校生メンバーの話し合いの結果、去年は 8 万円という目標金額が達成できたということで、今回は更に多い 11 万円を目標とすることになりました。

高校生メンバーが声を大にして呼びかけてくれたおかげで、人通りの少ない中でも大変賑わいをみせたフリーマーケットとなり、なんと売上 83,447 円、募金 28,825 円の合計 112,272 円とすばらしい成果をあげることができました。本当にありがとうございました。



『骨髄バンク推進全国大会 2004』の開催

報告：安原 武志（関西協会理事）

去る 2004 年 10 月 31 日（日）に慶応義塾大学三田キャンパス西校舎ホール（東京都）において、「骨髄バンク推進全国大会 2004」が開催されました。今年は、「~もうすぐ 20 万人、まもなく移植 6000 例~」をサブタイトルに、行政、日本赤十字社、医療関係者をはじめ、地区普及広報委員、コーディネーター、支援ボランティアなどの関係者のほか、ドナー経験者、患者・家族、移植経験者など幅広く約 400 名の参加者が詰め掛けました。

はじめに第一部の式典として慶応義塾大学医学部池田康夫さんの開会の挨拶後、主催者である（財）骨髄移植推進財団の高久史磨理事長の挨拶、来賓として厚生労働大臣や日本赤十字社事業本部長、日本さい帯血バンクネットワーク会長、全国骨髄バンク推進連絡協議会長からの祝辞を読み上げられました。

続いて事業報告と 6 団体に感謝状の贈呈が行われ、関西骨髄バンク推進協会も多年にわたる支援団体として感謝状とトロフィーを頂きました。

第二部は記念イベントとして、公共広告機構の新キャンペーンと映画「ロード 88」「火火」の紹介があり、「火火」のモデルである神山清子さんが「私の物語であるが、この映画には私だけでなく今まで私を支えてくれた多くの方々に出演をいただいており、みんなの映画となっています。映画の成功が、新たな骨髄バンクの運動となってほしい」と強い思いを語られました。

続いて「血液型が変わっちゃった」著者石原靖之さん（骨髄移植経験者）と奥様を交えた特別インタビューが行われ、病名の告知により「死」を見つめたこと、再発後は人生や家族のこと、また経済的な負担など移植患者として考え悩んだ心境とともに患者家族として妻の思いを語られました。現在は、移植により血液型が変わったように人生感も大きく変わり、新たな気づきと多くの人々に生かされている自分を意識するようになった。もっとも命を大切にしてほしいとお話をされました。引き続き「コーディネート再現」をテーマに、石原靖之さん夫婦とドナー男女 1 名により、コーディネートの経過とともに患者さんとドナーさん側がどのような心理状態により提供されたのか良く分かる貴重な体験談でありました。

最後に、ドナー経験者や患者、移植経験者が壇上に集合し、参加者全員が「骨髄バンク推進全国大会 2004 アピール」を行い締めくくりました。

約 400 名集まった参加者からは、現場の声を聞いて思いを一層強くしたとの感想が寄せられました。



会場では、NPO 法人 関西骨髄バンク推進協会理事長 正岡徹が感謝状と記念牌を拝受いたしました。

多年にわたり、活動および骨髄移植推進財団への寄付を継続できたのもこれまで関西協会にご支援・ご協力くださいました皆さまのおかげであり、深く感謝いたします。

今後とも、骨髄バンクならびに関西協会にご支援を賜りますようお願い申し上げます。

（写真左：骨髄移植推進財団 高久史磨理事長 右：関西協会理事長 正岡徹）

## 骨髄バンクニュースダイジェスト

(骨髄移植推進財団発行のマンスリーレポート 11～2月号より)

### 1. 審議会報告(ドナー登録における「家族の同意」について)(11月)

10月29日(金)厚生労働省の審議会、「第24回造血幹細胞移植委員会」が開催されました。ドナープール拡大対策として、ドナー募集活動の強化と地域間格差の解消とともに、登録要件の緩和及び運用の見直しについて検討され、ドナー登録要件から「家族同意を得ている方」の条項を削除する方向となりました。今後、国において行政的に決定された後、実施時期等について示されることとなります。

なお、これはあくまで「ドナー登録時に」家族の了承を得る必要がなくなるということであり、骨髄提供の際には、現行どおり「家族の同意を得る」ことに変わりはありません。ドナー登録者等へ誤解を招かないよう、財団として十分な注意喚起を行ってまいります。

### 2. ドナー登録者数20万人に到達、目標30万人に向けて新たなスタート(12月)

平成16年11月25日、日本骨髄バンクのドナー登録者現在数は20万68人(平成4年1月のドナー登録受付開始からの累計数は25万4163人、年齢超過などによる取り消し数を除く)となり、20万人の大台を超えました。善意からドナー登録された25万人余の方々から感謝を申し上げますとともに、日本赤十字社、各赤十字血液センター、厚生労働省、都道府県、政令市、支援ボランティア、医療機関など関係者の皆様のご尽力に厚く御礼申し上げます。ドナー登録者目標の30万人に向け、新たなスタート台に立ったこととなります。当財団としては、今後とも関係者の皆様と連携を深めつつ、全力を上げて努力してまいりますので宜しくご理解、ご協力をお願い申し上げます。

### 3. 患者さんとご家族のためのパンフレット改訂(12月)

患者さん向けのパンフレット第三版「骨髄バンクと骨髄移植 患者さんとご家族のために」を作成しました。今回の改訂ではバンク利用編、移植医療編に冊し、骨髄バンクについても解説をしています。また、初めて病気になる方にもわかりやすい平易な表現を心がけました。登録された患者さんと登録責任医師の皆様へお送りしていますが、希望者の方へもお分けしています。お問い合わせは患者問い合わせ窓口(TEL.03-3296-8699)まで。

### 4. ドナー適格性判定基準を改訂(12月)

ドナー適格性判定基準の定期改訂にともない、1月から新基準での判定を開始します。特に大きな改訂はありませんが、ウエストナイルウイルス関連で海外から帰国したドナー候補者は3週間ではなく、4週間後まで提供できないこととされ、対象地域は全世界となったことなどです。

### 5. 3月からドナー登録要件が変更。18歳から登録が可能に(2月)

ドナー登録要件は、本年1月28日付けの厚生労働省健康局臓器移植対策室長の通知によって本年3月1日から変更されることが正式に決定しました。今回の変更の趣旨は、登録者の増加を図ることが主な目的で、今年2月4日厚生労働省主催の「全国健康関係主管課長会議」において、臓器移植対策室から各都道府県・政令市・中核市・特別区の担当課長に対し、変更内容の通知と、変更に関する普及広報について協力要請が行われています。

今回の登録要件の変更を機会に、パンフレット「チャンス」もわかりやすくコンパクトにした内容に改訂します。また、ドナー登録受付手続きで配布説明している説明書「日本骨髄バンクに登録される方へ」とドナー申込書等も一部変更されます。

### 6. クロイツフェルト・ヤコブ病の対応について(2月)

国内初の変異型クロイツフェルト・ヤコブ病(vCJD)の感染者が確認され、行政通知によりドナー適格性判定基準が変更されることとなりました。これまでは昭和55年以降、BSEが発生した欧州10カ国に通算6カ月以上滞在した人からの骨髄提供はできない取り扱いでしたが、今後は英国の滞在期間が通算1カ月以上の場合も提供を当面見合わせます。今回のvCJD感染者は英国に約1カ月滞在していた間に感染した可能性があるとみられており、英国の滞在期間を短縮する必要があると判断したことによるものです。

お問い合わせは・ 骨髄バンクフリーダイヤル 0120-445-445

### 日本骨髄バンク骨髄提供登録者(ドナー)・骨髄移植希望者登録状況 (2005年1月末現在)

	合計	関西	滋賀	京都	大阪	兵庫	奈良	和歌山
ドナー登録者数(1月末)	202,457	27,630	1,724	4,994	10,879	7,026	1,678	1,329
移植希望者登録数(1月末)	2,794	265	17	44	99	72	22	11

各地の活動報告

- 11月 3 岸和田青年会議所『こんなやさしさ見つけたよ』 23 和歌山県那賀振興局にて説明会(和歌山)  
 絵画展にて説明会(関西) 23 『火火』試写会にて啓発(滋賀)  
 6 大阪府立大学「白鷺祭」にて勉強会(関西) 27 国際ソロプチミスト甲賀主催『火火』上映会にて啓発(滋賀)  
 6・15 大阪府 NPO協働推進研修(関西) 2月 1 大阪府 NPO協働推進研修報告会(関西)  
 7 キャンパスプラザ京都(セントジョアン・ユラシグ・パルン 3・17 羽衣学園高校総合学習にて講演(関西)  
 協会)にて説明会と展示即売(和の会・関西) 3 スミセイヒューマニー 街頭募金・寄付拝受(関西)  
 7 堺市大仙公園『ヤングフェスティバル』にて啓発(さかい) 5 大阪府立健康科学センター『土曜の午後はシャン  
 9 棚澤八光社 打合せ(関西) ソンで』にて啓発と展示即売(関西)  
 11・12 映画『火火』試写会にて啓発(滋賀) 12・13「堺刃物まつり」にて啓発(さかい)  
 15 関西協会ニュース 39 号発行(関西) 14 大阪府担当者会議出席(関西)  
 18 スミセイヒューマニー街頭募金活動(関西) 14 関西電力労働組合本部訪問(関西)  
 19 三井物産ビル(三井住友海上火災)にて説明会(関西) 17 国際ソロプチミスト大阪 中央例会にて講演と寄  
 20・21 動物臨床医学会にて啓発と展示即売(関西) 付拝受(関西)  
 23 第4回チャリティーゴルフ大会(関西) 19 滋賀県薬剤師会(草津・栗東)にて講演と啓発(滋賀)  
 12月 22 松下電工 登録会打合せ(関西) 20 東大阪ききょうライオンズクラブ講演会にて寄付  
 23 羽衣学園高校『BE HAPPY』にて説明会とパザ- 拝受と展示即売(和の会・関西)  
 (さかい) 21 セレッソ大阪 打合せ(さかい・関西)  
 1月 19 東大阪ききょうライオンズクラブ例会にて講演(関西) 23 寝屋川中央ライオンズクラブ例会にて講演(関西)

ドナー登録会の報告

11月～2月 当協会・加盟団体分

年	月	日	曜	実施形態		場 所 ( 協力・主催 )	登録者数
2004	11	1	月	献血併行	大阪	大阪教育大学(大学祭実行委員会・柏原ライオンズクラブ・大阪府)	6
	11	2	火	献血併行	大阪	住友ビル(三井住友海上火災保険株式会社)	1
	11	3	祝	献血併行	京都	京北町役場(京都府)	7
	11	6	土	献血併行	大阪	大阪府立大学(友好祭実行委員会・大阪府・堺市)	11
	11	7	日	献血併行	大阪	守口市市民まつり(守口ライオンズクラブ・大阪府)	19
	11	7	日	単独	和歌山	岩出保健所(和歌山県)	9
	11	8	月	献血併行	大阪	茨木市役所(茨木市・大阪府)	22
	11	10	水	献血併行	大阪	JR柏原駅前(柏原ライオンズクラブ・大阪府)	5
	11	14	日	単独・献血併行	和歌山	田辺市民球場・農林水産業祭会場(和歌山県)	6
	11	16	火	献血併行	大阪	淀屋橋ビル(三井住友海上火災保険会社)	0
	11	20	土	献血併行	大阪	近鉄八尾駅前(八尾中央ライオンズクラブ・大阪府)	2
	11	21	日	献血併行	和歌山	海南市保健福祉センター(和歌山県)	11
	11	28	日	単独	和歌山	和歌山県立橋本体育館(和歌山県)	10
	12	1	水	献血併行	大阪	南海岸和田駅前(岸和田青年会議所・大阪府)	9
	12	4	土	単独	和歌山	ビッグホエール・県人権フェア会場(和歌山県)	17
	12	9	木	単独	大阪	済生会野江病院	8
	12	12	日	単独	和歌山	ジャスコ新宮店(和歌山県)	3
2005	1	6	木	献血併行	大阪	関電労組病院支部	4
	1	6	木	献血併行	大阪	関電労組枚方支部	4
	1	7	金	献血併行	大阪	関電労組三国支部	6
	1	7	金	献血併行	大阪	関電労組岸和田支部	7
	1	9	日	献血併行	京都	ジャスコ福知山店	8
	1	12	水	献血併行	大阪	関電労組北摂支部	18
	1	15	土	献血併行	大阪	京阪守口市駅前(守口ライオンズクラブ・大阪府)	3
	1	21	金	献血併行	大阪	関電労組守口支部	10
	1	31	月	献血併行	京都	(株)オムロン(京都府)	13
	2	2	水	献血併行	大阪	松下電工株式会社(電工労組・守口ライオンズクラブ)	14
	2	9	水	献血併行	和歌山	和歌山県庁	12
	2	12	土	献血併行	大阪	近鉄八尾駅前(八尾中央ライオンズクラブ・大阪府)	10
	2	12	土	献血併行	京都	ジャスコ福知山店	6
	2	15	火	献血併行	大阪	関電労組東住吉支部	4
	2	18	金	献血併行	京都	舞鶴市役所(京都府)	11
	2	20	日	献血併行	大阪	守口市立佐太小学校(PTA・守口ライオンズクラブ・大阪府)	4
	2	20	日	単独	和歌山	Aコープくしもと店(和歌山県)	2
	2	23	水	献血併行	京都	加茂町文化センター・高齢者福祉センター(京都府)	4
	2	26	土	単独	和歌山	和歌山市保健所(和歌山県)	2

前号(第 39 号)のドナー登録会の報告で、記載漏れがありました。ここに掲載の上、関係者の皆様にお詫び申し上げます。

2004	9	11	土	献血併行	大阪	近鉄八尾駅前(八尾中央ライオンズクラブ・大阪府)	3
------	---	----	---	------	----	--------------------------	---

**心よりのご寄付に感謝申し上げます**

2004 年 11 月 1 日 ~ 2005 年 2 月 28 日入金確認分(敬称略・順不同)

**個人寄付**

加藤徳男	10,000 円	福村武雄	3,000 円	片岡弘	40,000 円
井上雅美	3,000 円	水上スミ子	3,000 円	星 圭子	5,000 円
森下喜代	3,000 円	井上春枝	10,000 円	林 衛	5,000 円
伊藤克美	3,000 円	寺田志津子	3,000 円	成瀬志保子	10,000 円
小北千鶴代	3,000 円	森 陽子	3,000 円	山本あい子	10,000 円
松村安昭	3,000 円	西井幸代	3,000 円	吉田美紀	3,150 円
水上晴美	3,000 円	金澤鐘揚	4,000 円	ネズミ工房	16,600 円
関根倫子	10,000 円	神宮清子	3,000 円	パッチワークグループ	204,700 円
吉川仁育	3,000 円	荒井悦子	3,000 円	匿名	600 円
田 晴通	10,000 円	下山隆一郎	10,000 円	匿名	3,000 円
坂野まち子	4,900 円	井上祥子	3,000 円	匿名	17,621 円
牛尾登美	3,000 円	藤井瑞子	3,000 円	匿名	1,000 円
三好祥徳(正覚院)	3,000 円	西田龍三	10,000 円	有志多数	バザー用物品
大森康子	3,000 円	中野裕子	3,000 円		

**団体寄付**

うめだ歯科	3,000 円	細胞治療セミナー	45,500 円
フジモト眼科ギャレ大阪分院	30,000 円	住友生命保険相互会社(クリスマスチャリティバザー)	60,000 円
医療法人みどり会 中村病院	10,000 円	住友生命保険相互会社(11/18 街頭募金同額)	33,119 円
大阪府健康生きがいづくりアドバンス協議会	20,000 円	住友生命保険相互会社(募金箱など)	43,665 円相当
	バザー用物品	国際ソロプチミスト大阪 - 中央	100,000 円
滋賀県歯科医師会	10,000 円	東大阪ききょうライオンズクラブ	200,000 円
マスターズ空手道選手権大会実行委員会	78,050 円		

**団体賛助会費**

大阪ちゃやまちロータリークラブ	10,000 円	和歌山中央ライオンズクラブ	10,000 円
麒麟ビール(株)医薬カパニ大阪支店	10,000 円	大阪浪速西ライオンズクラブ	10,000 円
大阪大学医学部第三内科(小川啓恭)	10,000 円	国際ソロプチミスト枚方 中央	10,000 円
株式会社サンコー(代表取締役 藤下忠之)	10,000 円	国際ソロプチミスト亀岡	10,000 円
近畿大学医学部 血液・腎臓・膠原病内科	10,000 円	国際ソロプチミスト伊丹	10,000 円
国際ソロプチミスト豊中 千里	10,000 円	大阪本町ロータリークラブ	10,000 円
(株)エヌ・ケイ・ワイ	10,000 円	国際ソロプチミスト近江八幡	10,000 円

皆様の心よりのご寄付をお待ちしております。

お振込先 郵便口座 00970-3-64270

関西骨髄バンク推進協会

りそな銀行 京阪京橋支店 普通 6195718

NPO法人 関西骨髄バンク推進協会

\* このニュースレターは会員および関係者の皆様にお送りしております。今後、送付を希望されない場合は、お手数ですが当協会までご連絡くださいますようお願いいたします。

**各会ではボランティアを募集しております**

- \* 骨髄バンクを応援するさかい TEL&FAX:072-273-0992
- \* 骨髄献血の和を広げる会 TEL&FAX:0773-27-7693
- \* 大阪骨髄献血の和を広げる会 TEL&FAX:06-6349-2002
- \* 和歌山骨髄献血の和を広げる会 TEL&FAX:073-451-9528
- \* 滋賀骨髄献血の和を広げる会 TEL&FAX:0748-83-0259
- \* 奈良造血幹細胞移植を支援する会 TEL&FAX:0744-42-2167

NPO法人 関西骨髄バンク推進協会 TEL&FAX 06-6977-2123

〒537-8511 大阪市東成区中道 1-3-3 大阪府立成人病センター第三部長室内

E-mail : kankyo@mtc.biglobe.ne.jp URL : http://www5c.biglobe.ne.jp/~marrow/